

平成27年度公開講座「すこやかに生きる」

「－感染症は悪者？それとも人類の味方？－」

今年の公開講座「すこやかに生きる」は、「－感染症は悪者？それとも人類の味方？－」と題して開催します。

現在、韓国では MERS という致死率の高い感染症が問題となっています。数年前の新型インフルエンザや、昨年、わが国で70年ぶりにデング熱が発生するなど感染症が注目を集めています。一方で、よい働きをする菌もあり、私たちの健康に貢献しています。

今年のすこやかに生きるは感染症について学習したいと思います。

主催・山梨大学医学部

共催・山梨医学会

開催日時	平成27年10月3日(土)13:30～16:00
会場	山梨大学医学部キャンパス(中央市) 臨床講義棟大講義室
対象者	一般市民
演題と講師	「感染症の基礎とトピックス」 40分 微生物学講座 教授 森石 恆 司
講演内容	古来からすべての生物は外来生物の侵入すなわち感染を受け、寄生される側(宿主)と寄生する側(微生物)がともに進化してきました。本講演では感染する側の微生物についてわかりやすく概説し、近年話題に上っている感染症についても紹介させていただきます。
演題と講師	「高齢者が気を付けなければならない感染症」 40分 感染制御室 准教授 井上 修
講演内容	肺炎は高齢者が最も用心しなくてはならない感染症の筆頭です。その予防法や治療法に加え、人口の高齢化に伴う感染症の動向など、わかりやすくお伝えいたします。 また私たちが山梨大学病院で行っている感染症予防対策についてもご紹介いたします。
演題と講師	「人間と共存するよい菌の話」 40分 免疫学講座 講師 中村 勇 規
講演内容	ヒトを含む動物では、体内外の境界をなす皮膚および粘膜面に多種多様な細菌群が定着・共生していることが知られています。その代表的な例が「腸」であり、われわれ動物の腸管内には腸内フローラと呼ばれる膨大な数の細菌群が生息し、免疫系の形成や病原菌の排除などに貢献していることをはじめ、種々の生理・病理作用(健康と病気)に影響を与えていると言われていています。本講座では、ヒトと共生する細菌群について概説し、近年明らかとなってきた体によいとされる細菌群の作用メカニズムについて分かりやすく紹介します。
質疑応答	
コーディネーター 司 会	社会医学講座 教授 山 縣 然太郎

【日程、会場、申込方法等】

- 1 開催日時 平成27年10月3(土) 13:30～16:00 (受付 13時～)
- 2 会 場 山梨大学医学部キャンパス(中央市) **臨床講義棟**
- 3 対 象 者 市民一般
- 4 募集期間 現在～平成27年10月2日(金) 8:30～17:00(土・日・祝日を除く)
- 5 募集人員 150名【先着順】
- 6 受 講 料 無料
- 7 修了証書 所定の課程を修了した方に修了証書を授与します。
- 8 申込方法

- (1)直接来学して申し込む場合：下の申込書に記入して学務課窓口で手続きをしてください。
- (2)郵送により申し込む場合：下の申込書に氏名、住所、電話番号を明記して申込先に送付してください。
- (3)FAX により申し込む場合：下の申込書に氏名、住所、電話番号を明記して申込先に FAX してください。
- (4)電子メールにより申し込む場合

氏名、住所、電話番号を明記し下記アドレスに送信してください。

E-mail : kokaikoza@ml.yamanashi.ac.jp

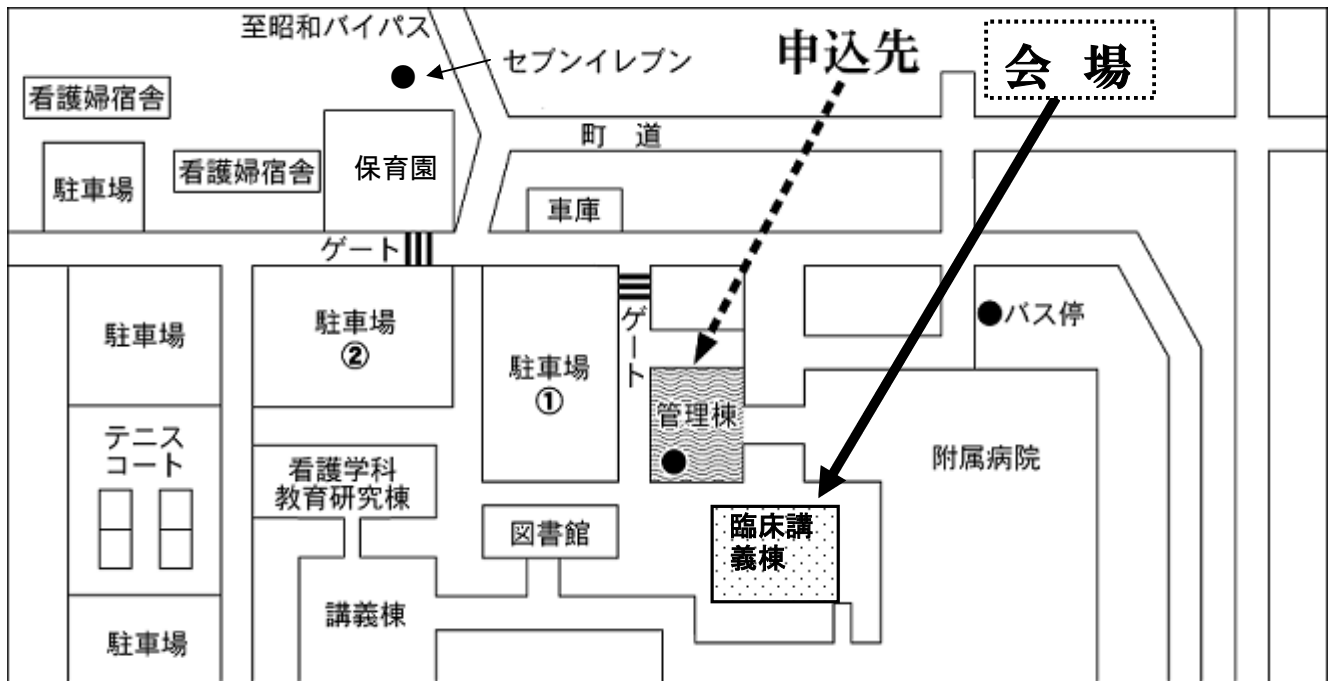
※ただし、メールにより申し込む場合は、題名を「公開講座申込」としてください。

9 申込先及び問合せ先

山梨大学学務課公開講座担当(医学部キャンパス管理棟1階)

〒409-3898 山梨県中央市下河東1110番地 Tel 055-273-9346 FAX 055-273-6742

【山梨大学医学部キャンパス案内図】 ※お車で越しの方は、駐車場①又は②をご利用ください。



平成27年度山梨大学公開講座「すこやかに生きる」受講申込書

(※印は記入しないで下さい。)

ふりがな		※整理番号
氏 名		
住 所	〒	※日 付
電話番号		